

福島市内に、高濃度セシウム汚染地域が...なんと3カ月前より濃度が5倍以上に上昇した地点も

福島市内で高濃度セシウム = 3カ月前より濃度上昇地点も NGO 東京電力福島第1原発事故の影響を調べているNGO「FoE Japan」などが5日、東京都千代田区永田町の参院議員会館で会見し、福島市内で高濃度のセシウムに汚染された地域があることを明らかにした。

NGOによると、調査は9月14日に実施。神戸大大学院の山内知也教授（放射線工学）に依頼し、福島市小倉寺と渡利の計5カ所で土壌のサンプル調査を行った。

この結果、最も濃度が高かった地点では1キロ当たりセシウム134と137が計30万ベクレルを超えた。3カ月前と比較して濃度が5倍以上になっている場所や、学童保育が行われている建物の近くで15万ベクレルを超えていたケースもあった。

山内教授らの調査では既に、これらの地域では放射線量が高い「ホットスポット」があることが分かっている。同教授は「時間がたつてセシウムの濃縮が進み、汚染が進行している地域もある」と指摘。「泥を除いたり、水で洗い流したりするだけでは線量が下がらない場所もある。子どもと妊婦を避難させた上で、アスファルトやコンクリートの除去なども考える必要がある」と訴えた。

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20111005-0000040-jij-soci>

数値的には上記で紹介した通りなのでしょう。しかし、だからと言って私は福島を離れることは全く考えていませんし、多くの市民も福島に留まって生活を続けることを望んでいます。政府や自治体の対応策も延々として進みません。

私はこのような事態に対して、先ず自分達で出来ることはないのか？ そのように考えて行動して来ました。

[せと弘幸Blog『日本よ何処へ』:セシウムの恐怖とその対策に乗り出す。](#)

2011年7月11日 ... せと弘幸Blog『日本よ何処へ』.行動する ... そしてそのフルボ酸を入れたサプリメントの商品が開発され、売られていることも分かりました。... フルボ酸入りの錠剤になるのか、或いはドリンクになるのか、研究機関に依頼してからの判断です。...

このことに関する途中経過を御知らせしたいと思います。このブログの後の14日には次のような記事も載せています。

フルボ酸入りの石鹸の販売について

東京電力福島第一原発の放射能汚染が深刻化していますが、その放射性物質セシウムを洗い流す効果に優れているとされるフルボ酸を米国から輸入して、昨日、健康食品製造会社の社長にお渡ししました。取り敢えず口にするモノは時間がかかるので、石鹸にフルボ酸を混ぜたものを早急に製造・販売することになりました。こちら詳しくは後でご説明致します。

あれから3ヶ月が過ぎました。ようやく今月中にはこのフルボ酸を入れたボディシャンプーと化粧品、そしてサプリメントが完成します。ボディシャンプーに関しては販売出来るかも知れません。

これは最初のパッケージデザインです。この通りではありませんが、このような形の容器に入っています。化粧品についてはとりあえずローションとジェルの種類です。サッパリ系と粘着系ですが、この二つのセット販売となります。

健康サプリメントについては、来週サンプルが出来てきます。運びやすいように錠剤となっています。こちらはパッケージなどはこれから考えます。



これらの商品を何故作ることにしたのか？

福島第一原子力発電所の爆発事故によって、大量の放射性物質が放出されました。この放射性物質の中には30年経っても放射能を出し続けるというセシウムなどがあります。このセシウムが土壌に蓄積し作物に移動して、それを口にした場合、体内被曝の可能性も指摘されています。

また、山林などには雨に混ざったセシウムが木や葉に大量に付着し、それが風によって生活圏に運ばれ、その風向きなどによっては限定された場所に堆積し、そこからはかなり高濃度のセシウムが検出されています。ということは外出時に頭や肌などに付着してしまうということです。

そこで我々『原発災害被害者の会』は肌に着いた放射性物質を洗い流す、あるいは肌に着けて外出し放射性物質を吸着して肌から浸透するのを防ぐ。また、内部に取り込まれた放射性物質を外部に出して、少しでも内部被曝を防ぐという目的でこれを世に出すことを決めました。

なお、フルボ酸を使ったシャンプーや化粧品はこれまでも売られており、その効能・効果についてはネットで検索すればいくらでも見る事が出来ます。[フルボ酸商品](#)で検索して下さい。

ただ、我々はそのような健康と美容という見地からだけでなく、フルボ酸が持つその驚異の性質に着目しました。それが以下の資料です。

<http://www.pubmed.gov/>

これは医療関係者が研究によく使うウェブサイトで、ここで米国国立医学図書館、国立健康機関に登録されている研究論文を閲覧することが出来ます。

研究論文ですからネットで個人が自分の考えを勝手に述べているものとは違います。信頼出来るものだという事です。

その中にフルボ酸がウランの活性と毒性を減らす研究論文があります。研究を行なったのはオーストラリア国立機関の統括科学環境研究所・環境毒物学プロジェクトです。論文が発表されたのは環境科学技術雑誌 2011年2月25日です。東北大震災が発生する以前の論文です。

その研究内容ですが、次のように書かれています。

フルボ酸を使用した水生生物（鱒、グリーンヒドラ、クロレラ）による実験によると、水1リットル当たり20ミリグラムのフルボ酸が添加された水中では、ただの水と比べるとウランの毒性は最大20倍低かった。

* 上記の研究についての原文は、www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/2135180およびwww.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/21351802でご覧になれます。

ウランは非常に強い放射能を出すことで知られています。この研究は水中での実験であり、人間の住む環境におけるものとは違います。しかし、フルボ酸がウランの毒性を減らす効果があったことは確かです。

我々は手を拱いていることは出来ません。あらゆる可能性に挑戦します。

我々は福島の水を、福島農産物を安心して摂取することで、福島に活気を取り戻したい。

子供達が安心して遊び学んでいける環境を作り出したい。

新商品の中で化粧品のサンプルが出来ましたら、女性の方々に呼びかけたいと思っています。尚、詳しいことにつきまして、化粧品などに関してはメールで直接ご案内申し上げます。化粧品は当初の販売は100セットのみです。

ボディシャンプーは万単位で生産しています。

これから何回かに分けてフルボ酸について紹介してまいります。

行動するジャーナリストが
現下の祖国日本に
渾身の愛と力を込めて筆を揮う！

わからない事は
調べましょう！

検索

政治プログラムキング

【政治部門】4位

(2011年10月16日時点)